

産地戦略

実施期間 令和7～11年度

実施主体 鳥取県みどりの食料システム推進プロジェクト協議会
都道府県 鳥取県
対象地域 鳥取県全域
対象品目 ナシ



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

該当するものに●を付してください。

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

有機質肥料のみを施用する全量有機質肥料施肥体系により、化学肥料を使用しない梨栽培を目指す。

現在の栽培体系

●:基肥散布(化成肥料) ▲:春肥散布 ◆:芽出し肥散布(化成肥料) ■:礼肥散布(化成肥料) ♡:収穫

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	◆	◆			♡	♡	■	●	●			▲	基肥：化成肥料7-4-4 有機質肥料6-8-3 春肥：有機質肥料4.5-4.6-1.9 芽出し肥：化成肥料15-14-9 有機質肥料6-8-3 礼肥：化成肥料15-14-9
技術名													

グリーンな栽培体系

▲:春肥散布 ◆:芽出し肥散布(化成肥料) ■:礼肥散布(化成肥料) ♡:収穫

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名					♡	♡	■					▲	春肥：有機質肥料7.2-4-2.5 芽出し肥：有機質肥料7.2-4-2.5 礼肥：有機質肥料7.2-4-2.5
技術名												◆	

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6 (R5年作付面積)	目標R11	備考
(参考) 対象品目の作付面積 (ha)	652	652	
グリーンな栽培体系の取組面積 (ha)	0.05	80	
環境にやさしい栽培技術の取組面積 (ha)	0.05	80	
省力化に資する技術の取組面積 (ha)	0.05	80	

取り入れる技術に応じて取組面積の目標等が異なる場合は、
行を追加する等で分かるように記載してください。

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	化学肥料施肥	▶ 全量有機質肥料施肥	化学肥料の使用量の削減
		▶	

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境 省力	化学肥料の使用量（kg/10a）	70	▶ 0	
省力	施肥回数（回）	6	▶ 3	
			▶	
			▶	

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

有機質肥料のみを施用する全量有機質肥料施肥体系により、化学肥料を使用しない梨栽培を目指す。

関係者の役割

関係者名	鳥取県 経営支援課農業普及推進室 鳥取県 園芸試験場 鳥取県 各農業改良普及所	JA等	鳥取県生産振興課	
役割	技術指導（JA等と随時連携）	技術指導（普及所等と随時連携）	事務手続き等	

その他